

平成30年7月豪雨災害からの着実な復興と強靱化の推進を求める決議

呉市は、平成30年7月豪雨により、土砂崩れや河川の氾濫などによって未曾有の大災害に見舞われ、道路・鉄道・水道などのインフラへ甚大な被害を受け、3,200件を超える家屋等が被災し、関連死5名を含む30名もの尊い市民の命や、多くの市民の安心・安全が奪われるという大変悲しい出来事となった。

被災後は、被災者を含めた市民や全国のボランティア参加者などからの献身的な支援、自衛隊、警察をはじめとした国、県及び他自治体など関係機関からの力強い支援、さらには地元企業をはじめ多岐にわたる団体からの心温まる支援に支えられて、復旧・復興の取組を着実に進めてきた。その結果、復旧事業は概ね完了することができており、過分なる御支援をいただいた皆様に対して、心から感謝の意を表明する。

これまで、呉市復興計画に基づき、市民生活や経済活動に不可欠なインフラの復旧が行われ、災害に強く、幸せで魅力的なまちとして復興するための取組が着実に進められてきたが、近年の自然災害は激甚化していることから、市行政に対しては、防災・減災の対策として、国や県などの関係機関と連携し、道路・河川・海岸線及び砂防・治山などの土木施設等の強靱化や、公共施設・設備の強靱化が図られるよう強く要望するところであり、市民等の安心・安全な生活の確保が、我々の念願である。

呉市議会は、不幸にして犠牲となられた方々の御冥福をお祈りし、災害の記憶や教訓を風化させることなく、被災者に寄り添った支援を継続するとともに、今後とも、平穏な市民生活等を守るため、本市の復興に向けた対策に総力を挙げて取り組み、呉市復興計画に掲げる事業の着実な推進により、災害に強い幸せで魅力的な都市となるよう議員一人一人が全力を傾注して取り組むことを、ここに表明する。

以上、決議する。

呉 市 議 会